

令和8年9月18日

学校関係者評価報告書(対象:令和7年度)

旭川荘厚生専門学院

学校関係者評価委員会

委員長 杉本 尚平

「令和7年度学校自己評価報告書」に対し、学校関係者評価を実施しましたので、概要を下記のとおり報告します。

記

1 開催日 令和8年9月11日(金) 15時から16時30分

2 場所 旭川荘厚生専門学院 会議室

3 外部委員

■出席者(敬称略)

岡山県立瀬戸南高等学校 校長 古澤 氏由児 [高等学校関係者]

アートチャイルドケア岡山早島保育園 保育士 佐藤 和佳 [卒業生・関連業界関係者]

旭川荘厚生専門学院看護学科 非常勤講師 森原 百合子 [卒業生・関連業界関係者]

株式会社トモニー・きずな 事業部長 常国 修治※ [卒業生・関連業界関係者]

※書面による参加

4 実施方法及び公表

「令和7年度学校自己評価」を外部委員が確認し、各項目に対する意見を述べていただいた。また、後日提出された書面評価表の意見を取りまとめた。評価結果は今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ上に公開する。

5 評価及び意見

評価項目に対する外部委員の評価及び意見、提案は、別添「書面評価表」のとおり。

非常に適切 :10～8

適切 :7～6

やや不適切 :5～4

不適切 :3～1

学校自己評価(7年度実績)に対する書面評価表

* 評価値は小数点第2位を四捨五入

(1) 教育理念・目的

評価項目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.5	8.6	8.0	7.7	A氏	8.0	7.8
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.4	8.5	8.0		B氏	8.0	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	6.9	7.0	6.4		C氏	8.0	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	6.8	6.8	6.9		D氏	7.0	
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.0	8.1	7.6		計	31.0	

(2) 学校運営

評価項目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.0	6.9	7.0	7.1	A氏	8.0	6.8
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	6.9	6.9	7.0		B氏	7.0	
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	6.8	6.8	6.8		C氏	6.0	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.3	7.3	7.3		D氏	6.0	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.1	7.1	7.1		計	27.0	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.0	7.1	7.0				
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.8	7.9	7.3				
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.5	6.5	6.7				

(3) 教育活動

評価項目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.0	8.1	7.4	7.6	A氏	8.0	7.8
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	7.9	7.9	7.7		B氏	8.0	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.0	8.1	7.7		C氏	8.0	
キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.8	7.9	7.6		D氏	7.0	
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.6	7.6	7.4		計	31.0	
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	7.8	7.8	7.7				7.8
授業評価の実施・評価体制はあるか	7.1	7.1	6.9				
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	7.2	7.2	7.2				
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.3	8.4	7.7				
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.2	8.4	7.8				
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.8	7.9	7.7				
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	7.2	7.2	7.4				
先端的知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	7.1	7.0	7.3				
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.6	6.5	7.1				

(4) 教育成果

評価項目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
就職率の向上が図られているか	8.4	8.6	8.0	7.8	A氏	8.0	7.8
資格取得率の向上が図られているか	8.4	8.5	8.0		B氏	8.0	
退学率の低減が図られているか	7.4	7.3	7.8		C氏	7.0	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	7.4	7.4	7.3		D氏	8.0	
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用されているか	7.3	7.3	7.4		計	31.0	

(5) 学生支援

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.3	8.4	8.0	7.7	A 氏	8.0	8.0
学生相談に関する体制は整備されているか	8.4	8.4	8.2		B 氏	8.0	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	7.8	7.8	7.7		C 氏	8.0	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	7.8	7.8	7.7		D 氏	8.0	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	7.1	7.1	7.4		計	32.0	
学生の生活環境への支援は行われているか	7.4	7.3	7.6				
保護者と適切に連携しているか	7.8	7.8	7.7				
卒業生への支援体制はあるか	7.5	7.6	7.1				
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	7.4	7.4	7.4				
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	7.1	7.0	7.6				

(6) 教育環境

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.5	6.5	6.7	6.7	A 氏	7.0	6.0
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	7.2	7.2	7.2		B 氏	6.0	
防災体制は整備されているか	6.5	6.4	7.1		C 氏	5.0	
					D 氏	6.0	
					計	24.0	

(7) 学生募集

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学生募集活動は、適正に行われているか	6.7	7.2	4.9	6.9	A 氏	7.0	7.0
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	6.8	7.2	5.2		B 氏	7.0	
学納金は妥当なものとなっているか	7.1	7.2	6.6		C 氏	7.0	
					D 氏	7.0	
					計	28.0	

(8) 財務

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.8	3.1	5.7	5.9	A 氏	6.0	5.8
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5.3	4.9	6.3		B 氏	6.0	
財務について会計監査が適正に行われているか	7.3	7.4	6.7		C 氏	5.0	
財務情報公開の体制整備はできているか	7.2	7.2	7.0		D 氏	6.0	
					計	23.0	

(9) 法令遵守

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.1	8.3	7.4	7.8	A 氏	8.0	8.0
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	7.9	8.1	7.0		B 氏	8.0	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	6.8	7.0	6.1		C 氏	8.0	
自己評価結果を公開しているか	8.3	8.4	7.9		D 氏	8.0	
					計	32.0	

(10) 社会貢献

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	8.2	8.2	8.2	8.1	A 氏	8.0	8.0
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.5	8.6	8.0		B 氏	8.0	
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	7.5	7.4	8.0		C 氏	8.0	
					D 氏	8.0	
					計	32.0	

(11) 旭川荘との連携

評 価 項 目	全体	旭川	吉井川	大項目 平均	外部委員 大項目評価・平均		
行事等においてお互い協力できたか	8.1	8.1	8.0	7.9	A 氏	8.0	8.0
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.1	8.0		B 氏	8.0	
人事交流を行っているか	7.4	7.4	7.4		C 氏	8.0	
旭川荘への就職希望者はいるか	7.8	7.7	8.2		D 氏	8.0	
					計	32.0	

【外部評価委員の意見】

- ◇在校生の国家試験全員合格という実績を残すことが学院の評判に繋がる。
- ◇学生指導が大変だと思いますが、団結して頑張ってください。
- ◇厳しい現状を少しでも打開できるよう卒業生として微力ながら協力したい。
- ◇少子化により学生確保が困難な状況は大学も同じ。そうした中、皆様が尽力しておられることに敬意を表したい。
- ◇学生の心に訴えるコアメッセージの有無が広報の本質的な課題。「資格が取れる」等実利的訴求は他校とも共通で、差別化にならない。「入学後の成長」等を具体的に示すことが、学生の心に届くコアになる。
- ◇入学定員削減は、新たな取組を加える余地を生み出したとも言え、定員割れを教育改革の好機とする視点が必要。「少人数だからできること」を具体的に伝えることが、大規模校にない魅力として学生に届く。
- ◇高校生が進路を検討する際、学びや学生生活の内容を重視する傾向が強い。行事や活動、友人といった「生活の実感」が伝わる発信が効果を持つ。
- ◇学生数減少の厳しい現実の中で、一人ひとりに向き合う先生方に敬意を表す。
- ◇評価の前提に目標がある。来年度は目標と達成度を示していただきたい。
- ◇少子化による学生確保の難しさや財政面での困難さは出口の見えない課題ですが、学院の魅力を存分に伝える努力をお願いしたい。
- オープンキャンパスでの少人数対応・座談会
 - パンフレットは写真を多く、文字を大きく
 - ホームカミングデーの有効な実施方法の検討